

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レンヌ第二大学		
留学期間	2024 年 9 月 1 日 ～ 2025 年 7 月 1 日		
所属学部・学科	経済学部 地域環境政策学科	※沖縄国際大学での所属学科	
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	A1
帰国時	A2

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。
就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始前はフランス語を喋りなれておらず、伝えたいことが伝えられないことが多くありましたが、A1 で授業で日常会話に必要な文法・単語をしっかり学び、そこから日常会話で躓くことがなくなり、A2 から授業の聞き取り・スピーキングの他に苦手だったライティングの難易度がレベルアップし、自然と自分で表現する語学力と語彙も増えました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
学内で日本語を教えたいと考えており、レンヌ第二大学の第二外国語（日本語）のアシスタントを募集していたのでアシスタントをしていました。また、留学期間中に創作をしておきたいと思い、語学学校のフォトコンテストに応募しました。語学学校のクラス以外でアシスタントとフォトコンテストに参加することで、自分の言葉で説明をする表現力がついたと感じます。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今後は仏検の合格の他に、バディ制度を利用しフランス語を使う機会を増やして語学力をさらに向上させたいです。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修で習ったフランス（レンヌ）の歴史や文化についてと、現地での最低限のマナーや危機管理のことについてです。予備知識で歴史や文化を知っておくと語学学校の授業で出題されるときに理解がスムーズになり、資料や先生の補足に集中できるのでもっと理解が深まり、現地での最低限のマナーや危機管理を知っておくことで、問題なく留学を終えることが出来たからです。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	7 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	提出書類は定期的に変わるので、余裕をもってしっかり調べて準備する。 直前まで提出書類をチェックし、大使館のサイトから情報を得ておく。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
入寮後に国際郵便・小包で家族から寮に荷物を送ってもらいました。荷物は寮ではなく La poste（郵便局）へ届くので、直接出向く必要があります。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から台湾経由してシャルルドゴール空港へ行きました。 トランジット含めないで約 15 時間のフライトでした。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
無
その他出発前に準備しておくべきこと
e SIM を買っておく。現地のもですが、トランジットで空港に待っておく間の空港は Wi-Fi が弱く、1 G でもあったら気持ちぐ安心だと思いました。 変換プラグや薬・衛生用品や文房具を準備しておく

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
9月1日から一週間のウェルカムウィークで、学校の説明以外にも、オリエンテーション後バディと会う時間や、街や大学内の案内ツアーの予約や備品がもらえました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
前期と後期でオリエンテーションが開催されますが、前期にオリエンテーション行ったら後期は行かなくても大丈夫です。 後期で大学の授業を受けようとする際にオリエンテーションへ行くべきですが、前期にオリエンテーションへ行くと後期に通知が来ないので注意してください。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
滞在許可証の申請 出征証明書の申請（滞在許可証の申請で使用） 銀行口座はオンラインバンク（Revolut）でした。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
日本人は他県の交換留学生在が10～15人くらい居ます 大学・語学学校でのイベントも多いので交換留学生・現地学生との交流が多いです。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
学食が1€で食べれたり、同じ建物でbarがあり、そこでお昼限定でクレープを無料で作ってくれます。学食を1€にするには申請・登録が必要でした。 学内のデモで、オンライン授業になった際にPCの貸し出しがありました。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
基本的に安全ですが、常に警戒はしておいた方が良いでしょう。特にデモが学内でも街中でもあるので注意が必要。 レンヌから離れると治安のよくない地域もあるので事前に調べておくことが大切。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
中国で加入した海外旅行保険と、寮を申請する際に住居保険を申請しました。 住居保険は、寮が指定している住居保険会社の中から選びました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	44,000 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	月初めの 10 日までに／寮のサイトで支払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリット：大学・metro・バス停が近い、スーパーや郵便局・銀行も徒歩 10 分の距離</p> <p>他の住居に比べて安い</p> <p>デメリット：少し狭い・洗濯機が棟外にある</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
主に自炊		
<p>どのような家具・日用品が用意されていましたか？</p> <p>購入する必要があったものは何ですか？</p> <p>日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）</p>		
家具は揃っていて、キッチン用品・日用品はなかったので購入した。		
日常の買い物について		
最寄りのスーパーへ行きました、ホームセンターとスーパーが融合したみたいなお店だったので掃除用具や衛生用品の他にも工具があったので買い物はスーパーですべて済ませることができました。		
現地での移動手段について		
徒歩とmetro・バス		
休暇中の過ごし方について		
休暇が長いので友人たちと遊び、近隣国へ行きました。また、休暇明けのテストに備えました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
語学学校のクラスのみなので授業の登録をする作業が困難だった。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学学校は多くて一クラス 20 名くらいなので、グループ・ペア学習の時間がほぼすべての授業にあり、発言や質問する機会が多いです。発言や質問しやすい環境なので積極的に発言しやすく、また成績でもプラスの評価になります。休暇が多い分、前後にテストがあるので学習量が沖縄国際大学にいたときよりも増えます。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
参加していないですが、語学学校開催の演劇や新聞・映画作成のクラブがありました。 フォトコンテストやワークショップがあり、有料ですが安くでオペラ鑑賞やモンサンミッシェルのツアーもあります。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Etude de la langue A1/A2 （語学学校 2024 後期・2025 前期）	4		4
Comprehension orale a l'exp A1/A2 （語学学校 2024 後期・2025 前期）	4		4
Civilisation A1 （語学学校 2024 後期）	2		2
Labo A1/A2 （語学学校 2024 後期・2025 前期）	4		4
De la comprehension ecrite a l'exp orale A1/A2 （語学学校 2024 後期・2025 前期）	4		4
Expression orale A1/A2 （語学学校 2024 後期・2025 前期）	4		4

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。

- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
9月1日	現地到着
9月9日	学生証受け取る
9月10日	前期語学学校のオリエンテーション・顔合わせ
9月17日	前期スタート
10月7日	テスト期間スタート
10月27日	一週間の秋休み（その後の週テスト）
11月6日	後期の語学学校コース登録
11月17日	テスト期間スタート
12月9日	20日までテスト期間
12月20日	クリスマス休暇 語学学校の集中コースは2月3日まで
1月27日	後期オリエンテーション・スタート
2月16日	一週間の冬休み（その後の週テスト）
4月13日	一週間の春休み
4月22日	テスト期間スタート
5月23日	語学学校 終了
6月28日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		26 万		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		1 4 万 4 千		円	
C. 授業料（1 年） ※冲国大に納める授業料は除く		36 万		円	
D. 教材費（1 年）		5000		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	4 万 4 千	円（月額）	44 万	円（年額）
	食費	3 万 5 千	円（月額）	35 万	円（年額）
	交通費	2400	円（月額）	2 万 4 千	円（年額）
	携帯代金	1540	円（月額）	1 万 5400	円（年額）
	交際費（娯楽代）	2 万	円（月額）	20 万	円（年額）
	その他	1 万	円（月額）	10 万	円（年額）
	生活費合計	約 14 万	円（月額）	訳 140 万	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		約 189 万		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>家族カードと自分のクレジットカードを使って支払いをしました。</p> <p>現金は 5 万円くらい持っていました。使う場面は少なかったですが、持っていたほうがいいです。</p>
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
<p>留学前日までお金をためておく。</p> <p>事前にクレジットカード会社へセキュリティを緩和する旨を伝えておく。ですが、たまにインターネットで支払をすると聞かれたので、毎回カード会社へ連絡することになりました。電話対応するとき家族を仲介しなければならないので、トラブルが発生したら早いうちに家族やカード会社へ相談をすることをお勧めします。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レンヌ第二大学	
留学期間	2024年9月1日～2025年7月1日	
所属学部・学科	経済学部 地域環境政策学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は2024年9月から2025年7月までの約1年間、レンヌ第二大学にある語学学校に留学しました。

語学学校では、入学時に行われたレベル分けテストの結果に基づき、適切なクラスに配属されました。授業はすべてフランス語で行われ、留学生は世界各国から集まっていました。授業内容は文法や語彙の習得にとどまらず、ディスカッション、プレゼンテーションなど多様な形式が取り入れられていました。また、クラスメイトとの交流やグループワークを通じ、実践的な表現力を磨く機会が多くありました。

特筆すべきは、授業中および休み時間も原則としてフランス語で会話することが求められた点です。当初は理解が追いつかず苦労しましたが、日常的にフランス語を使用する状況に置かれたことは語学力向上に極めて有効でした。言葉が十分に通じず悔しい思いをした経験もありましたが、その度に表現の幅を広げようと自主的に語彙を学習し、学びを実践に結びつけることができました。

留学期間中、レンヌ第二大学で開講されている日本語クラスのアシスタントを務める機会をいただきました。担当内容は、日本語を学習するフランス人学生の会話練習の補助および日本文化紹介です。授業内では学生が日本語で自己紹介や日常会話を行う際に相手役となり、発音や表現を補助しました。また、日本の行事や食文化に関する説明を行い、質問に答えることで文化理解の一助となりました。

母語を学習者に教授するという立場は初めての経験であり、伝え方を工夫する必要性を強く認識しました。日本語を自然に話せることと、教えられることとは異なるという気づきは大きく、自らの母語を客観的に捉え直す契機となりました。日本語を学ぶ学生の熱意に触れることで、私自身も学ぶ姿勢を再確認することができました。

生活面では、留学前は生活環境や食習慣の違いに不安を抱いていましたが、現地での住環境は整っており、安定した生活を送ることができました。大学寮では現地の学生と同じ建物で生活し、互いに協力しながら日常を過ごしました。共同で調理を行う機会や、週末に市内へ出かける活動を通じて自然に交流が生まれ、精神的にも支え合うことができました。

また、留学初期には行政手続きが必要でした。健康保険加入や学生証発行など、慣れない制度に戸惑うことも多かったのですが、友人の助言を受けつつ、自ら調べて対応しました。言語的な制約の中で各種申請を完了させた経験は、自立心を育成する重要な機会となりました。

授業以外の時間には、クラスメイトや現地で知り合った友人と観光や食事を楽しむ機会が多くありました。レンヌ市は中世の建築や歴史的建造物が多く残る街であり、文化的な魅力に富んでいました。

また、友人と近郊の町へ小旅行をすることもありました。こうした活動の中では、会話は原則としてフランス語で行い、英語を使用する機会は徐々に減少しました。数か月後にはフランス語のみで意思疎通が可能となり、その成長を実感したことは大きな励みとなりました。

今回の留学で得た成果は大きく三つあります。第一に、日常生活および学習活動を通じ、語彙・文法・会話力のすべてにおいて向上が見られました。特に、即興的な会話能力や相手の意図を理解する力が強化されました。

第二に、各種手続きや生活上の課題を自ら解決した経験は、自主性と問題解決能力を高めました。困難に直面

した際にも調べ、相談し、実行するという行動を繰り返すことで自信を得ました。

第三に、多国籍の学生や現地の人々との交流を通じ、異なる文化的背景を持つ人々との協力や相互理解の重要性を体感しました。人とのつながりを築く力は、今後の社会生活においても有用であると考えています。

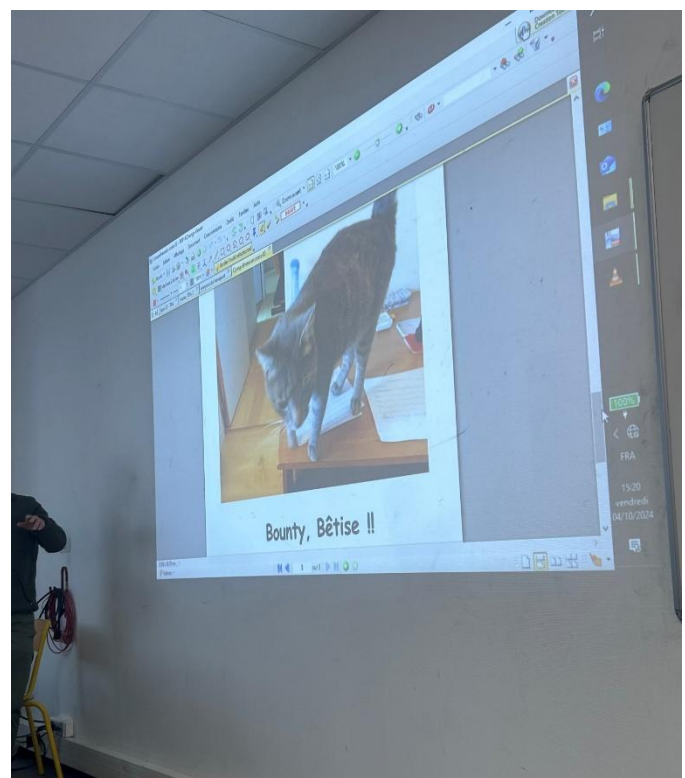
今後は、本留学で培った語学力をさらに高めることを目指します。具体的には、フランス語を使用する環境を自ら積極的に探し、学習を継続するとともに実践の機会を増やしていきたいと考えています。フランスで得た人間関係や文化的知見を保持し、今後の進路選択や職業活動に結びつけていく所存です。

約1年間の留学は、語学力の向上のみならず、主体性や国際的視野の拡大といった多方面での成長をもたらしました。日常生活の中で直面した困難を解決し、異文化の中で人々と協力し合いながら過ごした経験は、今後の人生においても大きな糧になると確信しています。本留学で得た成果を活かし、引き続き学びを深めていきたいと考えております。

↓ 枠内に添付すべきが迷ったのですが、枠外にそのまま添付します（時間割・日本語アシスタント授業風景）

Semaine du 14/10/2024 au 20/10/2024	
8h30 - 9h30	De la compréhension écrite à l'écrit, orale A2-B D4030 - 10h30 THALESSEN D403 (22 p.)
9h30 - 10h30	Etude de la langue A2-B D4030 - 11h30 ANGELESCU, R. D403 (22 p.)
10h30 - 11h30	Etude de la langue A2-B D4030 - 12h30 ANGELESCU, R. D403 (22 p.)
11h30 - 12h30	De la compréhension orale à l'écrit, écrite A2-B D4030 - 13h30 COLLETON, A. D403 (22 p.)
12h30 - 13h30	Leçon A2-B gr1 D4030 - 14h30 CHENET, C. L270
13h30 - 14h30	Expression orale A2-B D4030 - 15h30 CHENET, C. D403 (22 p.)
14h30 - 15h30	Expression orale A2-B D4030 - 16h30 CHENET, C. D403 (22 p.)
15h30 - 16h30	Civilisation A2-B D4030 - 17h30 BOHNER, V. D403 (22 p.)

A2 Classe B
Professeur référent : Raphaële ANGELESCU



沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レオン大学		
留学期間	2024 年 8 月 13 日 ～ 2025 年 6 月 27 日		
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科	
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	スペイン語検定 6 級 大学でスペイン語 I ～IVを履修
帰国時	現地の語学学校でスペイン語 A 1 ～B 2 を取得

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。
就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？
所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

留学当初は、会話を成立させるために翻訳機が欠かせず、「OK」や「ありがとう」といった一言で終わるような単純なコミュニケーションしか取ることができませんでした。しかし、現地での生活や授業を通じて徐々に語学力が向上し、留学の終盤には翻訳機を使わずに日常会話が可能となりました。その結果、帰国前には一人で旅行に出かけることができるまでに成長しました。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？
また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

語学力の向上は留学の大きな目的の一つでしたが、それ以外にも異文化理解や視野の拡大を目的として留学を決意しました。留学前から日本語教員の資格取得を視野に入れていましたが、実際にスペイン語を学ぶ中で、学習者としての立場を体験することができたことは非常に大きな気づきとなりました。スペイン語は日本語とは大きく異なる言語であり、習得には時間と努力を要しました。現地でネイティブの先生から授業を受ける中で、言語を学ぶことの難しさや不安、そして小さな成功体験の喜びを実感しました。こうした経験を通じて、自分自身の視野が大きく広がったと感じています。また、留学中は遠足に多く参加し、教室では学べない現地の文化や歴史に触れることができました。遠足を通じて、スペインの文化が地域ごとに大きく異なることを実感しました。特にキリスト教が生活や建築、習慣に深く根付いており、そこから歴史の重みを感じました。また、一部の地域ではイスラム教への配慮も見られ、宗教の多様性と共存の姿勢に強く印象を受けました。こうした現地での体験から、文化を深く理解することの大切さを学びました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

今後はスペイン語の資格である DELE B 2 の取得を目指しています。将来の具体的な進路はまだ決まっていませんが、スペイン留学を通して沖縄の魅力を改めて実感しました。海外での経験も貴重ですが、今は沖縄で働き、地域に貢献したいという気持ちが強くなっています。この思いを大切にしながら、今後の進路を考えていきたいと思っています。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修では、スペインに関するテキストを読んだり映画を鑑賞したりする機会がありました。そのおかげで、現地の授業で同じテーマや表現に触れた際、内容が初めてではなかったため、抵抗感を持たずに取り組むことができました。事前に背景知識があることで、理解がスムーズになり、学習の助けになったと感じています。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	日程度 2ヶ月程度 （6 月の中旬に申請、書類に不備があったため、再提出。再提出の書類は郵送した。8 月 12 日スペインに東京経由で行き、その際にビザを受け取った。）
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	必要書類（査証申請書、写真、パスポート、入学許可書、スペインの医療保険、通帳のコピー、住民票、健康診断書、無犯罪証明書）全てコピー 1 部持って行った。 費用はビザ申請の際の往復飛行機代と滞在費用 大使館は混むので開館時間より前に行くことをおすすめします。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物の発送していない

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄（那覇空港）→東京（羽田空港） 東京（羽田）→韓国（仁川空港）→スペイン（マドリードバラハス空港） 電車でマドリード（チャマルティン駅）→レオン（レオン駅）
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
ホストファミリーが電車の駅まで迎えにきてくれました。 現地の語学学校を通じて事前を送迎を依頼しており、あわせてホストファミリーにも自分でメールでお願いしていました。
その他出発前に準備しておくべきこと
乗り継ぎの際、携帯電話が使えなくなることもあるため、事前に eSIM の準備や航空券のスクリーンショットを保存しておくとう便利。スペインに到着してから、バスや電車の情報をスマホで調べられないと非常に困ります。 空港内はほとんど Wi-Fi が使えますが、情報が不足して、Wi-Fi が使えない場合もあるため、事前の準備が重要です。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
なし
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
9月3日から大学のオリエンテーションが始まりました。オリエンテーションでは、授業の取り方や大学生活についての説明が行われました。大学の授業は、語学レベルがB2以上でないと受講できません。そのため、B2の語学力を持っていなかった私は、授業を履修するつもりがなく、オリエンテーションには参加しませんでした。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
外国人身分証明番号（NIE）の申請→180日以上滞在の学生が必要

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
語学学校にはさまざまな国や地域からの学生が在籍しており、特にヨーロッパやアフリカ大陸出身の学生が多い印象でした。その他にも、アメリカや西アジア（中東）からの学生も見られました。 また、年に2～3回はアメリカからの交換留学生が短期で参加しており、授業や課外活動を通じて交流する機会もありました。 日本からの学生も一定数おり、関西や愛知県などの地域から来ている学生たちと知り合うことができました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
語学学校では、パソコンやスマートフォンの使用は自由でした。授業中も必要に応じて各自のデバイスを使うことができ、調べものやノートの整理などに役立ちました。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
油断は禁物ですが、全体的に治安はとても良く、安心して生活することができました。大きなトラブルに巻き込まれることもなく、快適に過ごすことができました。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学にあたっては、レオン大学から指定された保険への加入が求められました。そのため、大学指定の保険に加入しました。 この保険には、携帯電話の盗難や破損、飛行機の遅延、医療費の補償などが含まれており、留学中の万が一のトラブルにも備えることができました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	約 22 万 円（ 1 ヶ月半 ） （ 1 2 3 3 €）
	支払い時期と方法	9 月 3 日（新学期が始まる前に事務のカウンターでデビットカードで支払った）
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他（ビソ/シェアハウス）
	費用	月 4 万 5000～ 円（ 10 月～6 月までの 9 ヶ月間 ） （280€）
	支払い時期と方法	家賃は月の初めに大家さんが取りに来てくれた（現金で支払った）
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>ホームステイのメリットとしては、語学力の向上と異文化理解の深化です。毎日の食卓でホストファミリーと会話を重ねることでスペイン語でのコミュニケーション力が向上しました。しかし、初めはうまく意思疎通ができず、翻訳機を使っても思うように伝わらないことがあり、もどかしさを感じる場面もありました。</p> <p>ビソでの生活を通じて、掃除や洗濯、食事の準備などを自分で行うことで、自立心が大きく養われました。また、他国からの留学生と共同生活をする中で、日常的に異文化交流を経験することができました。特に大晦日などのイベントでは、みんなで料理をしたり一緒に過ごしたりすることで、国を超えた友情が生まれ、とても楽しい思い出となりました。一方で、共有スペースを他の住人と使うため、自分のタイミングでキッチンやバスルームを利用できないこともありました。そのため、時間をずらして行動する必要がある場面も多く、スケジュール調整には工夫が求められました。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>ホームステイでは、ホストファミリーが朝食・昼食・夕食のすべてを用意してくれたため、食事の手配に悩むことなく、安心して生活することができました。毎日の食事を通して現地の家庭料理に触れることができたのも貴重な体験でした。</p> <p>ビソでは基本的に自炊をしており、外食は友達と遊びに行く時のみでした。</p>		
<p>どのような家具・日用品が用意されていましたか？</p> <p>購入する必要があったものは何ですか？</p> <p>日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）</p>		
<p>ビソにはベッドや家具、キッチン用品がすべて揃っており、最初に自分で購入したものはベッド用のシーツくらいでした。生活に必要なほとんどのものは現地で購入でき、品質も安全に使用できます。ただし、現地の乾燥がひどいため、日本からシャンプーや化粧水などを持参することをおすすめします。コストや品質の面でも日本製品は優れており、特に乾燥対策には欠かせません。</p> <p>また、レオンは年間を通して寒さを感じる事が多く、特に夜間は冷え込むため、長袖の服やヒートテックなどの防寒着を持参することが重要です。夏は昼間はタンクトップで過ごせるほど暑くなりますが、夜は一気に冷え込むため、羽織るものがないと快適に過ごすのが難しいです。そのため、半袖よりも長袖や上に羽織れる軽いジャケットなどを準備しておく方が良いと思います。</p>		
日常の買い物について		
<p>日常の買い物は主に「メルカドーナ」というスーパーマーケットで、食材や生活用品をほぼすべて購入していました。洋服は「ザ・コレテ・イン・グレス」や「ZARA」、「H&M」など、多くの店舗が並ぶ通りで購入することができました。スペインではコンビニエンスストアのような店舗は一般的ではなく、スーパーでの買い物が一般的です。</p> <p>また、筆記用具や薬はスーパーではなく、個人経営の専門店で購入することが多いです。日本でいう 100 円ショップにあたる店舗は「TEDI」というお店で、こちらも日用品を手軽に揃えることができました。</p>		

現地での移動手段について

現地での移動手段はほとんど徒歩でした。生活圏が徒歩で十分に移動できる範囲にあったため、特に不便を感じることはありませんでした。バスもありますが、実際に利用したのは急いでいた時の1～2回だけでした。バスの乗り方はシンプルで、乗車時に運転手さんに目的地を伝えてチケットを購入し、目的地に着いたら降りるだけです。（チケットをバスで購入する場合現金のみ使用可、カードは使うことができなかった）

休暇中の過ごし方について

休日の過ごし方はさまざまで、友達とショッピングに出かけたり、映画を見に行ったりしていました。また、家でご飯を作ってみんなで食べることもあり、遠足や旅行に出かけることもありました。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
<p>語学学校だったためなし</p> <p>語学学校はプレースメントテストを受け、その翌日からすぐ授業が始まりました。（9時～14時/1時間休憩）</p>	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
<p>語学学校では、1コマ50分の授業が1日4コマ行われており、その間に1時間の休憩時間が設けられていました。</p> <p>授業はすべてスペイン語で行われ、午前中は文法を中心とした授業、午後はコミュニケーション（会話練習など）を重視した授業が行われました。</p>	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
<p>無し</p> <p>遠足はあり。土曜日にある遠足にはほぼ参加しました。レオン周辺またはスペイン北部、中部、歴史を学ぶことができた。</p>	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
（語学学校）			
スペイン語 A 1			
スペイン語 A 2			
スペイン語 B 1			
スペイン語 B 2			

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月 15日	現地到着
8月 16日	語学学校 午前 プレイメントテスト/午後 街案内
8月 19日	A1 授業開始（40 時間の夏期講習）
8月 30日	A1 授業終了（40 時間の夏期講習）
	2 週間程度の夏休み
9月 16日	A2 授業開始
12月 18日	A2 授業終了（終業式）
	クリスマス&お正月休み
1月 7日	B1 授業開始
3月 17日	B1 授業終了
3月 18日	B2 授業開始
4月	休みが多い セマーナ サンタの休み 2 週間程度ある
6月 5日	B2 授業終了（終業式）
6月	最後の週 レオンの祭り
6月 27日	レオン→マドリード→イタリア→東京
6月 28日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		29 万 2603		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		大学指定保険 14 万 4020 + スペインの保険 8 万		円	
C. 授業料（1 年） ※冲国大に納める授業料は除く		現地の語学学校 0		円	
D. 教材費（1 年）		0		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	約 5 万 (300€)	円（月額）	約 68 万 (4020€)	円（年額）
	食費	約 2 万 (113€)	円（月額）	約 18 万 (1018€)	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	1700 (10€)	円（月額）	1 万 7000 (105€)	円（年額）
	交際費（娯楽代）	約 5000 (30€)	円（月額）	約 6 万 (338€)	円（年額）
	その他	1 万 7000 (98€)	円（月額）	約 18 万(1072€)	円（年額）
	生活費合計	9 万 3700	円（月額）	111 万	円（年額）
F. 留學生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		163 万 3000		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>留學中の費用は、琉球銀行の口座を使って準備しました。日本にいる間に口座にお金を入れておき、必要なときに現地で引き出して使いました。現金の引き出しには、主に琉球銀行のデビットカードを使いました。このカードで現地 ATM からユーロを引き出すことができましたが、引き出すたびに手数料がかかりました。クレジットカードでも現金を引き出せますが、こちらは手数料が二重にかかるため、あまり使いませんでした。家族からの送金は頼まず、必要があれば琉球銀行の口座に直接振り込んでもらって対応しました。</p> <p>現地には visa カード 2 枚とデビットカード 1 枚を持っていきました。</p>
留學費用に関して、今後の留學生へのアドバイスをお願いします。
<p>留學中は、使えない（期限切れなどの）カードを 1 枚持つておくことをおすすめします。というのも、現地ではいろいろな手口でお金をだまし取ろうとする人がいるからです。「助けてほしい」「現金を下ろしてくれないか」と声をかけられることがありますが、そういったときに期限切れのカードを見せて「自分も使えない」と伝えることで、安全にその場を離れることができます。基本的に財布には現金を入れず、すべてカード払いにしていました。どうしても現金が必要なときは、カバンに入れていたお金を使いました。お金がないふりをするのではなく、「自分も困っている」という姿勢を見せることでトラブルを避けやすくなります。身を守るためにも、使えないカードは意外と役立ちます。また、クレジットカードをスマホ決済に登録しておくとも便利です。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レオン大学	
留学期間	2024 年 8 月 15 日 ～ 2025 年 6 月 27 日	
所属学部・学科	総合文化学部 英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は 2024 年 8 月から 2025 年 6 月まで、スペインのレオン州にある都市、レオンで留學生活を送りました。専攻は英語ですが、英語以外の言語としてスペイン語に強い関心を持っており、現地でのスペイン語習得と異文化交流を主な目的として、この留学を決意しました。大学のカリキュラムを一時離れ、現地の語学学校に通いながら、世界中から来た仲間たちとともに学び、生活し、異なる文化の中で過ごす毎日は、私にとって非常に貴重な体験となりました。私が通ったのはレオン大学のレオンの市内にある語学学校で、スペイン語を母語としない学習者向けのプログラムでした。授業は全てスペイン語で行われ、午前中は文法、午後はコミュニケーションを重視するカリキュラムが組まれていました。私のクラスにはモロッコ、中国、台湾、ドイツ、ロシア、カメルーン出身の学生たちが在籍しており、単にスペイン語を学ぶだけでなく、それぞれの国の文化や価値観についても触れる機会が多くありました。特に仲良くなったのはモロッコ出身の友人で、授業外でも頻繁に交流し、お互いの国について深く語り合うことができました。こうした国際的な人間関係は、日本ではなかなか得られないものであり、私の世界観を大きく広げてくれました。

スペインで生活する中で最も印象に残った文化行事の一つが「Semana Santa（聖週間）」です。これはイエス・キリストの受難と復活を記念するキリスト教の重要な行事で、レオンでも大規模なパレードが行われ、街全体が宗教的な雰囲気になります。日本では宗教が日常生活の中でそれほど強く感じられることは多くありませんが、スペインでは宗教や伝統が非常に身近にあり、人々の生活に深く根ざしていることを強く感じました。

また、スペインの食文化にも驚きが多くありました。特に無料タパス（おつまみなどの小皿料理）文化や、食事の時間帯の違い（昼食が 14 時頃、夕食が 21 時頃など）は、慣れるまでに少し時間がかかりましたが、地元の習慣に馴染むことで日々の生活がより豊かになっていく感覚がありました。

スペイン語を習得することは、私にとって非常に大きな挑戦でした。留学当初は、頭の中で一度日本語に翻訳してからスペイン語に変換するという過程を踏んでいたため、会話のテンポについていけず、伝えたいことがうまく伝えられないもどかしさがありました。時には意味がまったく通じず、会話が成立しないこともありました。そうした中でも、日々の授業や友人との会話を通じて徐々に「スペイン語で考える」習慣が身につく、コミュニケーションが取れるようになっていきました。言語力の向上とともに、自信もついてきたと実感しています。

さらに、生活面でもいくつかの困難がありました。レオンはスペインの中でも寒冷な地域であり、特に冬は非常に冷え込みます。1 年を通して長袖が必要で、夏でも日中は暑くても夜は肌寒く、羽織ものが手放せません。多くの家にはクーラーが設置されていないほど夏は快適ですが、逆に冬は暖房が欠かせないほど寒く、私にとっては「寒さが天敵」と感じるほどでした。乾燥も激しく、風邪が治りにくくなることもあり、日本から持参した薬が早くなくなってしまうこともありました。次に海外生活をする際は、保湿ケア用品や常備薬をもっと多めに持っていくべきだと強く感じました。

この 1 年間の留學生活を通して、私は語学力だけでなく、多様な価値観に触れ、自分自身のルーツや将来について深く考えるようになりました。スペインの「メンタル的に生きやすい」環境は非常に魅力的で、自由で寛容な社会の中で自分らしくいられる心地よさを感じる一方、日本の生活環境やインフラの整備状況の良さ、安全性、衛生面など、多くの点で日本の良さも再認識することになりました。特に、日本の中でも私が育った沖縄の文化や雰囲気は、世界のどの

国にも似ていない、独自の魅力を持っているとあらためて感じました。外国から見ることで、自分の故郷の素晴らしさを再確認できたことは、この留学で得た最も大きな気づきの一つです。将来は沖縄に何らかの形で貢献したいという思いが、以前にも増して強くなりました。

今回のスペイン・レオンでの留学は、私の人生の中でも特に大きな意味を持つ経験となりました。言語の壁や寒さ、文化の違いに戸惑うことも多くありましたが、そのすべてが成長の糧になったと感じています。多くの国の人々と出会い、多様な考え方や価値観に触れる中で、自分自身の内面とも深く向き合うことができました。この経験を通して得た知識や感覚を、今後の人生に活かし、より広い視野で物事を見つめることのできる人間でありたいと強く思っています。私にとってこの留学は、自分自身を深く知る旅でもあったため、多くの刺激や出会いに溢れた日々を、みなさんにもぜひ体験してほしいと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	レオン大学		
留学期間	2024 年 8 月 19 日 ～ 2025 年 6 月 5 日		
所属学部・学科	総合文化学部 社会文化学科	※沖縄国際大学での所属学科	
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	A1
帰国時	B2

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学を通して、日常的な会話ができるレベルまで向上したと実感している。留学当初は、ある程度リスニングはできていたが、会話になると思っている以上に伝えることが難しかった。初めは苦戦していたが、日々の生活や授業、特に友人たちとの関わりの中でスペイン語で会話ができるようになった。留学を通して成長を感じた部分は、文法理解とリスニングだった。帰国後も YouTube やポッドキャストでスペイン語をスペイン語で学習できるくらい成長できたのは、長期留学で得ることができた大きな収穫だと感じている。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
語学学校では、多様な国籍の人がいる環境で学習できるので、彼らとの交流や課外活動を通して、レオンやスペイン文化、異文化を理解することを目標に過ごした。クラスではヨーロッパ圏だけでなく、アフリカやアジアからの学生多く、授業中は授業のテーマに沿って各国の文化や価値観を共有できた時は新たな気づきがあり、それぞれが自分の価値観の中でお互いを理解し合う交流は、日本ではできないので良い経験ができた。クラスの外では、課外活動を通してスペインの文化に直接触れることができた。特に印象的だったのは、ワイナリーを訪問したことである。スペイン北部はワインの産地としても有名で、レオン周辺にもたくさんのワイナリーがあった。留学中に一度はワイナリーに行ってみたく思っていたので、良い経験ができたと同時に、解説を理解できるくらいにスペイン語が上達したことを実感した。また、ヨーロッパ留学という点を活かしてスペイン以外の国も旅行した。国によって言語が違うだけでなく、交通機関等のシステムも違い最初は不安もあったが、その違いを知ることで日本の良さや、改善点にも気づき、何事も経験することの重要性を学べた。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今後の目標としては、DELE の受験に挑戦したいと考えている。その理由としては、留學生活を通して将来スペインでもっと過ごしてみたい、生活してみたい。そのため、今後は日本で就職し、スペインでの生活ができるように語学力をさらに伸ばし実現できるように努力したいと考えている。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	授業等で使う単語や文法に関する単語をある程度知っておくことで、授業でなにについて話しているのか理解が深まった。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	68 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	旅行保険ではなく健康保険に加入する必要がある。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
留学先への荷物の発送はなく、使用する航空会社の手荷物、預け荷物の制限の確認が必要でした。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
・出発 2024 年 8 月 11 日 那覇 → 羽田（Viza 受け取り） 8 月 13 日 羽田 → 仁川 → マドリード 8 月 14 日 マドリード到着 （大韓航空） 8 月 16 日 マドリード → レオン（電車） ・帰国 2025 年 6 月 29 日 レオン → マドリード（電車） 6 月 29 日 マドリード → カタール → 関西国際空港 （カタール航空） 6 月 30 日 関西 → 沖縄
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
なし。

その他出発前に準備しておくべきこと
<ul style="list-style-type: none">・クレジットカードやデビットカードの発行・Sim ロックの解除、必要であれば eSIM の接続

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
大学主催の歓迎会（9月頃）
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
大学主催の歓迎会（9月頃）
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
到着後、大使館が発行したビザが切れる前に現地の警察署にて延長・NIEの発行が必要でした。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
時期によって変動したが、長期のメンバーは大体4人程度。9月から11月の間は関西大学から15人程度。 アジア圏、ヨーロッパ、アフリカなど比較的、多様な地域から幅広い年代の学生が参加していた。 語学学校内に多様な言語のコースが設けられており、午後は、日本語クラスで学んでいるスペイン人と交流する機会があった。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
語学学校内にはWi-Fi、自習スペースがあったが、PC等はなかった。 授業はプリントが各先生から配布され、教科書、ノートとペンが学期の初めに配布された。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
レオンは他の地域よりも比較的安全と言われており、午後の日本語クラスの関係で語学学校に夜までいることがあったが安全だった。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
日本の保険は東京海上日動、スペインの保険はCignaの健康保険。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	15 万円程度 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 2・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	クレジットカード
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	4 万 5 千 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	現金
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
ホームステイは生活の面、到着後の手続きやサポート等で安心できる部分もあったが、費用が高いとも感じた。アパートに移ってからは、他の住居人の国籍の違いで価値観が違う面もあり苦労する面もあったが比較的、自由に過ごせた。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
ホームステイ中は基本的に昼は家で食べて、短期のメンバーがいた時は夜バルに行ったりした。アパートへ引っ越してからは自炊で金曜日は友達と出かけることが多かったのでバルで済ませていた。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
ホームステイ先は基本的なものは揃っていた。アパートに移ってからは、以前、日本人が使用していたものを先生方に預けていた物を譲り受けて使用していた。（炊飯器やドライヤー、日用品で余ったもの）シェアハウスの場合、洗濯スペースに限りがあったり、プライバシーの観点もあるなど感じたため洗濯ハンガー（洗濯バサミがついてるタイプ）があると便利。		
日常の買い物について		
食品や日用品は不便に感じることはないくらい揃っている。レオン市内に 2 か所、日本食品を扱っている中国マーケットがあるため調味料等はそこで購入可能。バルセロナやマドリードでも日本の食品を扱っている店舗があったので困ることはなかった。		
現地での移動手段について		
基本的に徒歩でしたが、少し離れたショッピングモールに行く場合などはバスを使用しました。（一回 2.5€）		
休暇中の過ごし方について		
ビザの有効期限が切れて NIE の発行まではスペイン国内を旅行し、NIE を入手してからはヨーロッパ圏を旅行した。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
なし。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学学校では全部の授業がスペイン語で、先生によっては補助的に英語を使う先生もいた。授業形態は2種類あり、文法の授業とコミュニケーションの授業があった。文法の授業では基本的に学校から配布される教科書、プリントを使用し、コミュニケーションでは配布されたプリントや文法を使って話す、聞くの練習が主でした。先生によって評価はさまざまでしたが、基本的に中間と学期末に試験があった。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
平日に市内遠足、休日にレオン郊外の遠足が定期的にあった。 午後から日本語教室に参加（自由参加）	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
語学学校 A1 （8月19日～31日）			
語学学校 A2 （9月16日～12月18日）			
語学学校 B1 （1月7日～3月7日）			
語学学校 B2 （3月18日～6月5日）			

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8 月 16 日	現地到着
8 月 19 日	学期開始 A1
8 月 31 日	学期終了
9 月 1 日	休暇
9 月 16 日	学期開始 A2
12 月 18 日	学期終了
12 月 19 日	休暇
1 月 7 日	学期開始 B1
3 月 17 日	学期終了
3 月 18 日	学期開始 B2
6 月 5 日	学期終了
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
6 月 30 日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		22 万程度		円	
B. 海外旅行保険（1 年）		230,000		円	
C. 授業料（1 年） ※冲国大に納める授業料は除く		0		円	
D. 教材費（1 年）		0		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	47,880	円（月額）	430,920	円（年額）
	食費	14,500	円（月額）	130,500	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	2,520	円（月額）	22,680	円（年額）
	交際費（娯楽代）	8,400	円（月額）	756,000	円（年額）
	その他	71,707	円（月額）	645,360	円（年額）
	生活費合計	145,007	円（月額）	1,305,063	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		2,435,460		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>お店での支払いは基本的にクレジットカードを使用し、家賃の支払いとバスを使用する際は現金を ATM から引き出して支払っていた。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p>
<p>現地で現金を引き出す際は、手数料等もかかるためユーロのレートが比較的低い時に必要な分以上引き出しておいたほうが費用を抑えられると感じました。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	レオン大学	
留学期間	2024 年 8 月 16 日 ～ 2025 年 6 月 29 日	
所属学部・学科	総合文化学部 社会文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私が本格的に留学をしたいと思うようになったのは、2023 年に経験した短期留学がきっかけだった。約 3 週間という限られた時間ではあったが、現地のスペイン人や他の国から来ていた留学生との交流で、言葉の壁を超えて人とつながる力を実感した。特に印象に残っているのは、スペイン語をスペイン語で学ぶという日本にはなかった環境だった。初日の授業は、不安や緊張もあったが、日が経つにつれて先生とも打ち解け、授業は想像していた以上に楽しく、新鮮だったと今でも感じている。時には言語の壁にぶつかり、難しさを感じることもあったが、日本語にはない感覚や表現を理解できた時、少しずつスペイン語が上達していると感じた時は大きな達成感を得ることができた。こうした体験を通じて、短期留学を終える頃には「ここでもっと学びたい」「さらに異文化を経験したい」という気持ちが芽生え、長期留学を決意した。

短期のセミナーから帰国した後は、報告会やスピーチコンテスト、留学試験などが続き、慌ただしい日々が続いたが、「もう一度、スペインに戻りたい」という気持ちで乗り越え、留学を決意してから、出発までは思っていた以上にあっという間だった。

長期留学では短期留学とは違い、航空券やホテル、電車のチケットなどの事前準備は自分たちで進める必要があった。そのため、日本からレオンまで無事到着できるのか不安もあったが、事前研修の際に事前に調べていたおかげもあり、大きなトラブルなく到着することができた。レオンの駅に到着してからファミリーが迎えに来てくださり、久々の再会を果たすことができた。ファミリーは以前もお世話になった方で、帰国する際に「ここは君の家だから、いつでも戻ってきていいよ」と言ってくれたり、日本に帰ってから連絡を取り合うくらい気にかけてくれていたので、また会えた時は本当に嬉しかった。レオンに到着したのは週末だったこともあり、初日はゆっくり過ごした。その後は久しぶりのレオンを散策し、以前と変わっているところ、いつも見ていた景色に安心した。公園を散策している時に、偶然にも語学学校の先生と再会し、学校が始まる前からすでに心が弾んでいたのを覚えている。学校が始まり、久しぶりのスペイン語での授業は、やはりまだ耳が慣れておらず、特に初対面の人のスペイン語は、その人の癖もあり聞き取ることが難しかった。それと同時に、聞き慣れているスペイン語でも分かったようで分からない、完璧に理解できないというもどかしい感覚もあった。それでも、夏のクラスは短期組や他の国から来た学生と交流を深めることができた。クラス後はバルに行ったり、課外活動でレオン市内の大聖堂や教会を訪れたりし、クラスでは聞くことのないネイティブのスペイン語に触れる機会があった。初めの頃は分からない単語が多く、知らない単語を聞いたらすぐに辞書で調べるというのが習慣だった。週末には、学校が手配したバスでレオン以外の街へ行く遠足もあり、初めてサラマンカという街へ行った。そこにはスペイン最古の大学があり、大学の見学、歴史、建築様式を堪能した。学期終盤にはスペインに来た初日に比べ、日常生活でスペイン語を聞く割合が増えリスニングはものすごく伸びたと実感できた。夏のクラスが終わり、約 3 週間の

休暇があったので、その期間を利用して、同じ沖国大からの派遣学生とマドリードとトレドという街を旅行した。遠足の時とは異なり、いつもガイドとして同行してくれる語学学校の歴史の先生もいない中、さらに、まだスペイン語が十分ではなかった中での旅行だった。トレドへ行くためには、レオンからマドリードを経由する必要がある、これまでに利用したことのない駅で、到着してからトレド行きのチケットを購入するまでが難しかった。初めての経験が多かった旅行だったが、2人でなんとか協力し合い、トラブルもなく充実した旅行だった。また、トレドはレオンよりも小さい町だったが、スペイン史において非常に重要な場所であり、時代によっては軍事拠点や首都、宗教の中心地でもあったため、現在では歴史遺産都市として知られている。このときは、まだそれほど重要な都市だとは知らなかったが、スペインの各地を訪れるうちに、点と点がつながるように歴史の理解が深まった。留学前には「外国語研究」という授業を履修したことがあり、その中でスペインの歴史について学ぶ機会があり、より一層理解できた。

休暇中はホームステイ終了後のアパート探しもしなければならなかった。そのため、旅行から帰ってきてからは、ファミリーの助けも借りてアパートのオーナーと連絡を取ったり、内見に行った。偶然にも、学校やスーパーからも近く、利便性もよくリフォームを終えたばかりのアパートで、さらに、ホームステイ終了後にすぐ2部屋入居可能だったため、一緒にアパート探していた沖国大からの派遣学生と10月から新たな生活が始めた。ホームステイ中はマザーと2人だったが、アパートに移ってからは4人でのシェアハウスで共有スペースや家での過ごし方が前とは違い、不便に感じることもあった。その環境に慣れるまでに時間はかかったが、生活面では、沖縄で一人暮らしをしていたこともあり、特に困ることもなかった。平日は学校が終わった後、家でお昼ご飯を食べて、語学学校で行われている日本語クラスが始まるまでは自習室で勉強をし、その後、クラスに参加していた。クラスでは、スペイン語を学びながら日本語を学ぶのを手伝うというのが日常だった。毎週金曜日に、アクティビティを開催しており、日本の学生がスペイン人の学生と交流できるような環境が整っており、スペインのカードゲームや公園でピクニックなど毎週充実した日々を過ごしていた。また、夜はそのクラスを通して知り合った友達たちとバルに飲みに行ったり、基本的に外で過ごすことが多かった。そのクラスは日本人の先生が講師をしており「来れるときに来てね」という感じで、クラスの時間帯も16時から21時までと幅広くレベル別で分けられているため、自分のスペイン語能力がB1であれば日本語クラスはひとつ下のA2に行く、という感じで有意義に学べた。年齢層も中学生から60代と幅広く、スペインに来てから自分の世代とは異なる世代と関わるが増え、年齢や性別、国籍も気にせず接してくれる環境で価値観が大きく変化した。また、スペイン人の良いところでもあり、悪いところでもあるが、ほんとに喋ることが好きで、日本語クラスのあとは30分くらいお喋りをしていた。その際に、いろんな人の喋り方を聞き、喋り方の癖や、日本語には無い言い方、教科書には無い表現を学ぶことができ、少しずつ道端で聞くスペイン語も聞けるようになった。一方で、スペイン語のクラスのレベルがあがるにつれ文法の複雑さが増し一時は、スランプを感じることもあった。特に、スペイン語は主語に合わせて動詞も変化し、時制によっても変化し、それだけでなく不規則動詞もあるため、慣れるのに苦労した。さらには、接続法を使った日本語や英語にはない表現があり、一時期は全く理解できなくなる時もあり不安もあったが、日本語クラスにいる友達が付き添いで教えてくれたり、先生方も時間をかけて教えてくれ、なんとか克服することができた。語学学校では友人たちはもちろん、先生方とも親密な関係を築くことができた。クラスメイトは途中入れ替わりもあったが、ドイツ、カメルーンやモロッコなど、アフリカからの学生、インドや中国からの学生が基本的なメンバーで、授業中や休憩時間だけでなく、休日もどこか遊びに行くというくらいに仲が良かった。最後の学期が終わる頃には、クラスメイトはもちろん、先生方とも別れが惜しくなるくらい一緒にい

た時間が長く、本当に多くのことを学べたと改めて実感した。特に、先生方からは語学の面だけでなく、生活の面でも様々な気づきをもたらうことができ、ある先生は「生きるために仕事をするんじゃないくて、人生を楽しむために仕事をするんだよ」と授業の内容を踏まえながら、日本では思いつきもしなかったことに気づかせてくれたり、旅行やスペイン人の習慣についても教わった。

スペイン滞在中は、水道管の破裂による断水と、大規模停電という滅多に無いことも体験した。特に大規模停電の際は、授業中に電気が消え、スマホも圏外になって不便だった。一方で、仕事もできなくなったスペイン人たちは、まだ昼間にもかかわらず、バルでビールを飲んだり、公園でピクニックをしているのを見て、いつも通り楽しそうに喋っていたのが印象的で、「電気がなくても案外どうにかなるんだな」と感じた。また、画面越しの誰かではなく、目の前の誰かと向き合って過ごすことの大切さや、コロナ明けに感じた人と関わる時間の感覚を再び感じる事ができた。この経験やスペインでの生活を通して、物事を楽観的に考え、「意外となんでもどうにかなる」と思えるようになり、様々なことに挑戦できるようになった。そのひとつは、4月と6月のヨーロッパ旅行だった。留学前や留学期間はヨーロッパにいたいというメリットを活かして多くの旅行したいと考えていたが、いざ計画を立てようとなると不安や日々の忙しさから諦めていた。しかし、留学中に様々な体験をし、限られている時間の中で、何かを経験すること、不安だということへ挑戦することの大切さに気づいた。留学後半からは、やらなかった後悔を残したくないという気持ちで様々なことへ挑戦できるようになった。実際には、ホテルの予約や交通機関の予約は大変で、限られた日数で時間を調整する必要や、ストライキやトラブルによって乗れなかった場合、電車の切符の買い方や打刻の仕方など国によっては交通機関のシステムも事前に調べる必要があった。また、海外ということもあり駅周辺や観光場所の治安も考慮しなければならず、やはり旅行前の準備が一番大変だった。しかし、旅行も経験を重ねるうちに、出発前は不安でも旅行が始まれば「なんとかなるだろう」と思えるくらい考え方が柔軟になり適応力が高まった。また、国を移動するたびに聞こえてくる言語が違ったり心配な面もあったが、ヨーロッパでは英語の他にも他の言語を喋れる方が多く、スペイン語で会話できたり、チェコでは韓国語を喋れるハンガリー人に出会うなど、違う言語でコミュニケーションを取れることの嬉しさを体験することができたと同時に、彼らがなぜ多くの言語を話せるのか関心を持った。そこには、日本にはないヨーロッパの言語教育があり、EUという国と国の繋がりなど多くの関係性があると感じた。

帰国後は、スペインとの雰囲気の違いに違和感を感じることもあったが、大学に戻ってからは、次の留学メンバーの手助けになることもでき、オープンキャンパスを通して留学経験を活かすことができた。また、留学中に経験した、ヨーロッパ圏の言語学習という観点においても、これまでゼミで取り組んできた内容と関連するため、留学に挑戦し経験したことで得た気づきは良いものだった。その点も踏まえて、今後の卒業論文に取り組んでいきたい。卒業後の進路としては、将来、スペインで生活したいという思いもあるため、スペイン語検定や DELE への挑戦するために、日々勉強に取り組んでいる。二度あることは、三度あるというように、またスペインに行ける日まで今後も学習を継続していきたい。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	オスナブリュック大学	
留学期間	2024年 09月 18日 ～ 2025年 07月 30日	
所属学部・学科	総合文化学部英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	2年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	ドイツ語Ⅲ(沖縄国際大学)、資格取得なし
帰国時	A2.1(オスナブリュック大学)、資格取得なし

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

<p>留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？</p> <p>所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。</p>
<p>[ドイツ語] オスナブリュック大学で受講していたクラスと沖縄国際大学で受講していたクラスはほとんど同じレベルの内容だが、リスニング力においては、意味は分からずとも一つのワードとして認識できるようにはなった。また、発音も若干改善されたと思われる。</p> <p>[英語] 留学前は、必修科目の講義で先生が話す英語は完璧に聞き取れる程度で、考えながら話す・聞き取るといった感覚が強かった。留学期間中は、日常生活は基本英語であったため、渡航後約半年ではストレス無く、友人とスムーズにコミュニケーションが取れるようになった。特に、様々な国のアクセントの英語が聞き取れるようになったこと、英語での電話対応、帰国直後も日本語より英語の方が話しやすくなったなど、様々な場面で成長を実感した。</p> <p>[韓国語] 留学前は自己紹介できる程度であったが、沖縄国際大学で出会った韓国人留学生とは会話をすることも、聞き取ることもできなかった。留学後は、現地で多くの韓国人留学生と出会い、2か月では韓国語のみで会話や旅行も問題なく出来るようになった。</p>
<p>語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？</p> <p>また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。</p>
<p>英語を学ぶきっかけとなった理由、そしてドイツ留学を目指した理由は、世界各国の人と可能な限り多く繋がる事であった。そのため、毎週新しい人と繋がるという目標を掲げ、様々なコミュニティに参加したり、新たなコミュニティを私自身で作ったりなど、満足のいく成果が得られた。留学当初は、アジア人同士でしか交流が生まれない、あるいは必然的にそうになってしまう環境に置かれていた。しかしながら、ヨーロッパ出身の学生と親しくなったことをきっかけに、その友人から新たな友人を紹介してもらったりなど、意識的かつ積極的に人間関係を広げるよう努めた。彼らに私と似た目標があったかは不確かだが、こうした行動を取らなければ、最終的に日本人だけで固まってしまうケースが多く見受けられた。</p>

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

この留学を通して、語学力以外にも、自立心や問題解決力などを培う良い機会となった。特に、海外でのトラブルは、身近に頼れる存在もない上、ほぼ全てにおいて日本とシステムが異なっていることもあり、不安とも戦いながら一人で解決するという精神的な強さも育むことが出来たと考える。今後の目標としては、今現在キャビンアテンダントになることを志していることもあり、これまで学んできた3か国語の実力を向上させることが一番の目標である。そのためにも、ドイツ人の友人との毎日のテキストやビデオ通話するなど、日常から意識的に外国語を話すよう心がけている。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	他の授業(外国語研究など)がドイツ語(語学)中心であったため、事前研修ではドイツの文化や地理、観光スポットなどを教えて頂いた。また、岡野先生が企画して下さった BBQ パーティーで前年度ドイツ留学をされた城間さんと話す機会があった。現地で的大学生活やシステム、ドイツ生活についてなどを幅広くアドバイスしてくださり、これから始まるドイツ生活をイメージしやすくなったことで一層前向きに留学に向き合えた。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	学生ビザ(2 年間)
申請から発行までかかった期間	2 8 日程度(VISA カードの受け取りまでは 5 4 日間)
申請時期	<input type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	Welcome Week 中のプログラム内でオンライン申請。(ノートパソコンまたはタブレット持参) ・パスポートのスキャン ・入国スタンプのスキャン(入国時にビザが必要ない場合) ・登録証明書のスキャン ・オスナブリュック大学での留学許可書 ・健康保険のスキャン ・資金証明書 ・奨学金証明書(該当する場合) ・住宅提供者の確認のスキャン ・登録確認(オスナブリュック市) ・顔写真

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
<p>例) 10/9 に沖縄から発送して、1 6 日にオスナブリュックへ到着(着払い)</p> <p>※ 1 売り物だと判断された場合、高額請求される可能性があるため、英語で Used などメモを添付してもらった。</p> <p>※ 2 輸送屋である DHL はチャイムを鳴らしてから一分たりとも待ってくれないため、代理の受け取りなど必要があれば事前にフラットメイトに頼んでおく。また別のフラットの方が荷物を預かっている場合も多くあるため、寮のグループチャットなどを通して輸送済みを確認する。</p>

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
<p>[沖縄からドイツ]約 2 日間</p> <p>那覇空港</p> <p>➡東京国際空港または羽田空港(飛行機：2 時間 3 0 分)</p> <p>➡フランクフルト国際空港(飛行機：1 4 時間)</p> <p>➡ミュンスター・オスナブリュック国際空港(バス：4 0 分)</p> <p>➡ミュンスター中央駅(電車：4 0 分)</p> <p>➡オスナブリュック中央駅(電車：4 0 分)</p> <p>➡学生/Sedanstrasse (バス M2 または R 1 6：2 0 分)</p>
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
<p>渡航前にオスナブリュック大学へ出迎えサービスの有無を尋ねたが、今年度はないと言われバスで学生寮まで向かった。</p>

その他出発前に準備しておくべきこと
往復の航空券や各大学から頂いた資料や契約書などは全てコピーし、一つのファイルにまとめておいた。 (基本的に英語/ドイツ語で書かれているため、個人で日本語へ翻訳したものと一緒に保存しておいた)

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

※【Pre-sessional German language Course2024(9/23~9/10/11)】

9/23

Welcome Session : Pre-sessional German language Course の授業内容やクラスの振り分け、大学施設などの簡単な紹介。仮のキャンパスカードを受け取った。(カードに入金すると Mensa で使用可能だが、残金は返却されない+一か月後には返却せざるを得ないため使わない方が吉。)

10/01

Registration at Bürgeramt : オスナブリュック市での住民登録。

【Welcome Week(10/14~10/19)】

14日

情報フォルダ/バッグの配布、今後の各イベント[International breakfast, Bremen への日帰り旅行,オスナブリュック大動物園までの遠足]の参加費支払い(現金のみ)、遅れて入学する学生への対応/キャンパスカード/到着証明書、市民事務所での住民登録またはキャンパスツアー

15日

Sparkasse 銀行口座開設 Part.1(個人情報などの記入 & 次回契約時のアポイントメントを取る/住民登録を終えた学生のみ)、外国人当局との任命のための手続き準備(ビザなし又は短期ビザでドイツに入国した学生のみ)、HisinOne Exa での試験登録、Transcripts of Records の情報、オスナブリュック動物園への遠足

16日

カフェテリアでの International breakfast(プロブラム初日で参加登録した学生のみ)、学生寮と手続き支援に関する情報(SEPAダイレクトデビット義務の完了ドイツまたはヨーロッパの銀行の詳細を持参。Studentenwerk が提供する寮に居住する学生のみ)、学生代表と地元のエラスムス・イニシアチブによるプレゼンテーション、Sparkasse 銀行口座開設 Part.2(支店で銀行契約書に署名し正式に口座開設が完了※契約書の説明、署名時も大学のスタッフが同行)

17日

外国人当局での手続き完了(ビザなし又は短期ビザでドイツに入国した学生のみ)、ドイツ語コースのプレイスメントテスト、Sparkasse 銀行口座開設の追加予約 Part.2、シティーツアー

19日

ブレーメンまでの日帰り旅行

参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

【Welcome Week(10/14~10/19)】で参加していないプログラムが複数あり。

18日

オスナブリュック大学図書館のイントロダクション、国際事務所と Kristin Delfs によるドイツでの就労に関するプレゼンテーション、ワークショップ：ドイツの学術文化

その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など

SIM 契約

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
Winter Semesterに参加した、Pre German Course には、計 11 各国から 35 名の学生が参加した。 日本人 10 名、韓国人 10 名、各若干名（スロバキア人、イギリス人、オランダ人、トルコ人、ポーランド人、イタリア人、フランス人、スペイン人、アイルランド人）
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
Schloss Osnabrück と Campus Westerberg(理系などの学部学科)があり、基本的には Schloss の方しか利用しない。それぞれに Mensa(学食)があり、メニューと価格は同じ。大学図書館は、Campus Westerberg、City Center(Schloss 側の図書館にあたる)、Heger Tor の 3 か所で、どの施設も学部学科問わず利用可能。ただし、利用するにあたって一度カードを作成する必要がある、価格は 5 €程度。(平日にしか、カードは作成して貰えない。) 講義や課題は基本 PC 必須。紙でノートを取る学生は一度も見かけなかった。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
City Center 近くの Neumarkt は薬物や酒などを乱用した人もおり、治安がかなり悪いので、暗くなってからは近寄らない方がよい。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
ドイツでは保険の加入が必須であるため、私は TK 保険に加入していた。選んだ理由は、閉鎖口座（Expatrio）を開設するタイミングで加入すると、割引が効いたためである。Kamp Promenade には実店舗もあるため、契約内容など確認したいことがある際は気軽に立ち寄れて便利であった。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	58,148 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ） (163 円/€)
	支払い時期と方法	口座引き落とし
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	58,148 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ） (163 円/€)
	支払い時期と方法	口座引き落とし
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>デメリットは特になし。立地ともに治安良し。Campus Westerberg または大学図書館まで徒歩 2 分。徒歩 5 分で Netto(ディスカウント・スーパーマーケット)、徒歩 15 分/バスで二駅の所に Combi(大きいスーパーマーケット)あり。最寄りのバス停(Campus Westerberg)が徒歩 2 分であり、大学・オスナブリュック中央駅・City Center 等どこへ行くのもここから出るバスを利用する。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>基本は自炊で、旅行中や友人と外出した際は外食。</p>		
<p>どのような家具・日用品が用意されていましたか？</p> <p>購入する必要があったものは何ですか？</p> <p>日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）</p>		
<p>[プライベート・ルーム]勉強机、椅子、デスクランプ、ベッドフレーム、マットレス、クローゼット、収納棚、プラグ、Wi-Fi</p> <p>※ベッドシーツや布団、枕などは個人で購入する必要あり。</p> <p>[共有バスルーム]大・小 2 か所あり。バスタブ、シャワー、手洗い場、トイレ</p> <p>[共有キッチン]キッチン、オープン、ダイニングテーブル、椅子、冷蔵庫/冷凍庫</p> <p>※その他（ポップアップトースター、電子レンジ等）はフラットによって異なる。</p>		
日常の買い物について		
<p>寮から最も近いディスカウントスーパーマーケット(Netto)を利用。</p>		
現地での移動手段について		
<p>通学にはバス(M2 または R16)、日帰り旅行には電車(DB)を利用。</p>		
休暇中の過ごし方について		
<p>友人との海外旅行や各地域でのイベントに参加するなど。</p>		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレイスメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
紙媒体でのシラバスがないため、気になるワードで検索をかけて、一つずつ講義内容を確認した。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
<p>【出席について】欠席は二回まで、授業開始 15 分以内に出席していなければ遅刻と見なされる。(遅刻に関しては、日本の様に移動時間が設けられていないこともあるため寛容な教授もいるが、なるべく気を付けた方が良い)これを満たさない場合は、期末試験の参加権利を失う(＝単位なし)以上を踏まえると、日本の大学と比べてかなり厳しいといった印象。</p> <p>【授業また課題内容について】</p> <p>【成績評価について】</p> <p>【定期試験について】</p> <p>試験登録が必須。中には期末試験がないものもあるが、試験登録をする必要があるものもあるため、注意が必要。</p>	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
参加経験なし。	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Intesivkurs Deutsch zur Studienvorbereitung “Studieren und Leben in Osnabrück” GER – Niveaustufe A2	4.0		
Intercultural Competence	4.0		
Introduction of Migration and refugees studies	4.0		
A1.2 Deutsch als Fremdsprache	6.0		
A2.1 German as a Foreign language	6.0		
International Mentoring Course	2.0		
International Students as Language Tutors : Organizing a Language Café	3.0		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
9月18日	現地到着
9月24日	Pre German Course (～10/11)
10月14日	Welcome Week (～10/19)
10月14日	冬学期の授業登録
10月17日	ドイツ語コース プレイスメントテスト
10月14日	Social Science 学科説明会
10月28日	冬学期 講義開始(～2/15)
12月21日	クリスマスホリデー(～1/4)
1月 2日	4月からの学生寮 契約書提出
2月3日	学期末試験期間(～2/15)
2月16日	春休み(～4/13)
2月 26日	夏学期の学費納入
3月25日	学生寮引っ越し
4月14日	夏学期開始(～7/19)
7月29日	学生寮の退去、オスナブリュックを出発
7月30日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		2 1 1, 4 3 0		円	
B. 海外旅行保険（1年）		1 4 4, 0 2 0		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		1 5 7, 9 1 4 (DB チケットを含む)		円	
D. 教材費（1年）		7,726		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	58,148	円（月額）	668,702	円（年額）
	食費	26,080	円（月額）	286,880	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	1,628	円（月額）	17,908	円（年額）
	交際費（娯楽代）	60,000	円（月額）	660,000	円（年額）
	その他（健康保険、Radio Fee 等）	23,422	円（月額）	253,913	円（年額）
	生活費合計	169,278	円（月額）	1,293,403	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		2,408,493		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
オンラインバンク(WISE)で口座開設し、そこから授業料などを支払った。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
念のため、最初の一か月はクレジットカード無しで生活できる程度の現金(ユーロ)を持ってドイツに渡ると良いだろう。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	オスナブリュック大学	
留学期間	2024年09月18日～2025年07月30日	
所属学部・学科	総合文化学部英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	2年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

【授業を通して学んだこと】

夏学期および冬学期に、それぞれ3つの授業を履修しました。特に夏学期には、唯一の社会科学の講義である Introduction of Migration and refugees studies を受講しました。この分野は沖縄にいた頃には全く触れたことがなく、周囲の学生との知識の差も大きかったため、講義についていくのは非常に困難でした。

毎週の課題として、教授が指定する論文やウェブサイトを読み、講義冒頭で個人の意見や要点を共有する形式で進行されました。また、学期中には一人で約20分間のプレゼンテーションが課されました。期末課題はありませんが、期末試験を受験すれば最大で6単位、受けない場合(プレゼンテーション必須)でも4単位が取得可能です。

この講義を通じて、戦争をきっかけに移民を決断する人々の背景、移民受け入れ国の基準や移民受け入れが社会・経済に及ぼす影響など、幅広い視点から移民について学ぶことができました。中でも、共に受講していた学生の中には、自身または家族がかつて移民としてドイツに渡ってきた人も多く、実体験に基づく貴重な意見を聞くことができた点は、非常に印象的でした。

他の交換留学生とは多くの講義やイベントを通じて出会う機会がありました。例えば、ドイツ語コースや International Mentoring Course では多くの交換留学生と知り合うことができ、International Afternoon といったイベントでは、日本を含む各国の文化に興味を持つオスナブリュック大学の学生が多数参加しており、非常に活気がありました。こうした交流は後述する Language Café への参加にも繋がり、すべての出会いが新たな活動へのきっかけとなりました。

先に触れたように、現地のドイツ人学生との交流を望むのであれば、Language Café への参加は必須と言えるでしょう。例年、5か国語ほどのセッションが行われますが、中でも日本語は非常に高い人気を誇っていました。私は夏学期に Japanese Language Café のホストを担当し、毎週15～20名ほどの学生が参加してくれました。初級者レベルでは、ひらがな・カタカナの読み書きや簡単な自己紹介が中心で、上級者になると日本語で授業を進めても理解できるほどのレベルに達しています。ここでは交流はもちろんのこと、自国語を教える難しさや、語学学習者同士としてのモチベーションの高さに刺激を受け、自身の学習意欲もさらに高まりました。ホストになる事に不安を感じる方でも、サポート役として参加し Tandem Partner（言語交換パートナー）を見つけるのも有意義だと思います。

【課外活動を通して学んだこと】

課外活動への参加は積極的ではありませんでしたが、市立図書館などでは外国人向けのドイツ語講座が開催されており、大学外でも地域とのつながりを築く機会があると感じました。今後の留学生にとっては、そういったコミュニティの活用も非常に有意義なものとなるでしょう。

【寮生活】

学生寮の契約は半年更新または年間契約のいずれかを選べますが、フラットの雰囲気や住み心地を実際に体験して

みないとわからない部分が多いため、個人的には半年契約を強くおすすめします。私の場合、最初に住んでいた建物が改装されることになり、夏学期からは隣の棟へ引っ越しました。しかし、家電の有無や共有スペースの清潔さ、フラットメイトの雰囲気などは全く異なり、生活の快適さにも大きな違いがありました。

冬学期のフラットでは、フラットメイトと掃除当番を決め、常に清潔な空間が保たれていました。一方で、夏学期に住んだフラットでは、掃除が徹底されず、非常に不快でした。

常備設備としては、シンク、冷蔵庫、冷凍庫、オープン、食品棚、ダイニングテーブルが基本で、前住人が残っていた電子レンジやトースター、コーヒーメーカーなどの家電が使えることもあります。私が住んでいた Sedanstraße には複数の建物があり、1 棟に 8 フラット、1 フラットあたり 4～6 人で共同生活をしていました。地下には、駐輪スペースとランドリールーム（洗濯機 2 台、乾燥機 1 台）があり、平日であれば待たずに使用できました。

部屋の構成は、個室に加えて大小 2 つの共有バスルーム、キッチンが 1 つ。冬学期のフラットでは男女比 2 : 2 であったため、バスルームも分けて使用していましたが、夏学期は私以外の 5 人全員が男性であったため、バスルームは共用となりました。

最寄りのスーパーは徒歩 5 分の Netto で、バスで数駅の距離には Combi、EDEKA、Aldi などもあり、買い物には困りません。最寄りバス停（Camp Promenade）からは、市内中心部や中央駅、大学へもアクセス可能で、立地は非常に良かったです。

【長期休暇の過ごし方】

11 月下旬からクリスマス前までは、ドイツ各地でクリスマスマーケットが開催されます。12 月には友人たちとともにドイツ国内を巡り、ニュルンベルク、シュトゥットガルト、ドレスデンといった世界三大クリスマスマーケットを訪れました。こうしたイベントは魅力的ですが、多くの人が集まるため、テロのリスクにも注意が必要です。実際、マグデブルクではクリスマスマーケットに車両が突っ込み、9 歳の少年を含む 5 人が死亡し 200 人以上が負傷するという悲しい事件が発生しました。

クリスマス期間中は、飲食店やスーパーが閉店するため、近所に住む友人とホームパーティを開きました。春休み（2 月中旬～4 月中旬）、夏休み（7 月中旬～10 月上旬）は約 2 か月以上あり、語学学習や旅行の時間が十分にとれました。天気の良い日には、Botanischer Garten でピクニックをしたり、近郊への日帰り旅行を楽しんだりしました。特に印象に残っているのは、オスナブリュックで開催された Meibock（ビール祭）や Wein Festival（ワイン祭）です。ドイツビールやワインを楽しみながら、ステージではアマチュアバンドの演奏もあり、非常に賑やかでした。また、帰国前には Münster と Paderborn で開催された移動式遊園地にも行き、日本では体験できないようなアトラクションにも挑戦しました。料金は 1 回 5～10€と高めでしたが、貴重な経験になりました。

長期休暇中は授業もアルバイトもないため、部屋で過ごす時間が増える傾向があります。語学学習の時間は増えますが、スピーキング力が低下しがちなので、積極的に友人と外出することを意識すると良いでしょう。そのためにも、学期中に多くの人と交流を深めておくことが非常に重要です。

【総括・留学後の計画】

ドイツでの留学生活は、多様な国籍の人々との出会い、英語・ドイツ語での専門的な講義、ヨーロッパ各地への旅行など、全てが刺激的で、学びと成長の連続でした。今後は語学学習を継続し、将来的には航空業界など外国語を活かせる職に就くことを目指しています。また、在学中はこれまで以上に、交換留学生や海外留学を志す学生のサポートにも力を入れたいと考えています。

オスナブリュックは緑豊かで学生が多く、落ち着いた雰囲気の中にも活気があります。海外での生活は、差別や詐欺、薬物、テロなどに巻き込まれないよう常に警戒が必要であり、無意識のうちに気を張って生活していたことは事実です。しかし、そのおかげで自己防衛意識が芽生え、海外で暮らすことへの心理的ハードルも大きく下がりました。これは、これ

から就職活動を始める私にとって、将来的に海外勤務を視野に入れる大きなきっかけとなりました。

ここには書ききれないほど多くの経験を得ることができ、ドイツでの全ての出会いとこの機会を得られたことに大変感謝しています。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	オスナブリュック大学		
留学期間	2024 年 9 月 15 日 ～ 2025 年 8 月 19 日		
所属学部・学科	英米言語文化	※沖縄国際大学での所属学科	
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年	

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	ドイツ語検定 4 級 程度
帰国時	CEFR A2.2

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時はどこにいても相手は何を言っているのか分かりませんでした、帰国時には自然とお店での簡単な会話や町の人たちとのとても簡単な会話、電車やバスでの放送について自分に関係することなどの大まかな事が理解ができるようになったと感じた。「話す」というと、とっさにはでてこなく、時間がかかる。また、発音が上手くできないことも多くある。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
ドイツの初等教育システムの理解を目的としていましたが、詳しく知る事はできなかった。しかし、2 つ、3 つ日本との大きな違いを知ることができた。授業を通して、ドイツの方と話す機会にドイツには義務教育の段階で政治教育や民主主義を学ぶということを行っており、それが州ごとにまとめられていることがわかった。また、初等教育に入学する時期を基準から一年遅らせたり、早くしたりすることが出来る制度があることも知ることができました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
自分の視点が広がり、より多くのことが視野に入るようになった気がする。まだ、見えてない、経験できてないことが日本でたくさんあることが分かり、今後は日本でしか経験できない、まだ知らない日本の文化や価値観に触れてみたいと思いました。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	実践的なお店などで使うドイツ語 実際に現地到着後に少し使った。
--------------------------	------------------------------------

● ビザについて

ビザの種類	滞在許可証
申請から発行までかかった期間	2 週間程度
申請時期	<input type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	パスポート 住居の証明書 閉鎖口座脳に証明書(十分な資金があるかどうかの証明書)

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
郵便局で自分が到着した後に家族に住んでいる住所あてに送ってもらいました。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄→羽田空港→フランクフルト空港→ミュンスター、オスナブリュック空港 そこからバスで 30 分程度
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
無し
その他出発前に準備しておくべきこと
交通機関の利用の仕方

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
大学の留学生向けのオリエンテーションと学科の留学向けのオリエンテーションでテストに登録が必要なこと、成績の取得の仕方など 9月下旬から10月上旬
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
参加しなかったので覚えていない。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
滞在許可書の申請、銀行口座の開設をしました。どちらも大学が案内してくれてできました。もし行けなくても、自分でもできる。何名かは自分で行ったと言う人もいました

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
日本、または他国からの留学生数 留学生の数は全体として非常に多い、日本人は他と比べると少ないものの、10名程度いた。留学生向けのイベントなども定期的に行なっていてメールでその情報が届く。申し込みしないと行けないものもある。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
大学と大学の図書館にパソコンがあり、使うことが出来る。図書館も自分の知ってる限り3つある。 授業でのPCの持ち込みの必要性については、語学の授業では、あまり使わなかったが、それでもファイルが共有されていて、それを授業で使う場合があった。語学以外の授業では必須だと思う。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
私の寮の周りは、他と比べ静かで、比較的安全でした。大学周辺の町も、ちょっと治安の悪そうな通りはあるものの、昼は安全だと感じました。夜になると人通りがとっても少なかった。他の街へ出かけるときは、より危機感を持った方がいいかもです。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
大学が推奨してる保険があり、閉鎖口座と一緒に申し込むことが出来る

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	341,44€ 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	寮の支払い方法 月の初め頃に登録している口座からの引き落とし
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
自分の住んでいた寮(Sedanstraße)では、洗濯が無料、他の寮では、一回の洗濯に 2€ほどかかると聞いた、でも家賃はここより安かった。静か。4 人もしくは 5 人の共有。他は 8 人とかもあると聞いた。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
食事の手配 基本的に自炊、お米が買えたのでよかった。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？ 購入する必要があったものは何ですか？ 日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
日用品 ベッド、机、イス、クローゼット、ハンガー、食器、調理道具 ベットシーツ、枕、掛け布団、タオルは購入した		
日常の買い物について		
お店がどこのも早く閉まるので早めに、また、日曜は開いてないので、その前に。		
現地での移動手段について		
バス、電車		
休暇中の過ごし方について		
ある程度、無料でバスや電車に乗れるので、周辺の町を訪れたり、旅行いたり。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありませんか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
なし	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
授業の形式はレクチャー、セミナー、ブロックセミナーがある。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
遠足などは時々行った。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
ドイツ語 A2.1			
ドイツ語 A2.2			
Intercultural competence			
English conversation B2			
Introduction to cognitive psychology			

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
9月 20 日	現地到着
9月 24 日	ドイツ語講座スタート
10月 14 日	オリエンテーション
10月 25 日	授業スタート
12月 20 日	冬休み
2月 10 日	テスト
2月 20 日	春休み
4月 10 日	夏学期スタート
7月 20 日	テスト
7月 25 日	夏休み
8月 19 日	日本帰国
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		500,000		円	
B. 海外旅行保険（1年）		144,020		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		100,000 (semester fee)		円	
D. 教材費（1年）		10,000		円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	58,000	円（月額）	700,000	円（年額）
	食費	20,000	円（月額）	240,000	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	2,200	円（月額）	26,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	10,000	円（月額）	300,000	円（年額）
	その他	5,000	円（月額）	60,000	円（年額）
	生活費合計	100,200	円（月額）	1,202,400	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,956,420		円	

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
クレジットカードをいくつか持っていた、現金も10万円ほど持って行った。最初は銀行口座をつくるまでそれをつかっていた。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
飛行機代と閉鎖口座に関わるお金があれば、大丈夫です。 学期が始まる前に semester fee を300ユーロほど支払うので、春休みのお金の使い方には気を付けたほうがいいかもです。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	オスナブリュック大学	
留学期間	2024 年 9 月 20 日 ～ 2025 年 8 月 19 日	
所属学部・学科	英米言語文化	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

今回の留学を通して、多くの人に助けをもらい、日本と違うと認識している文化に触れることができ、文化とは何かを自分なりに考え、学ぶことができました。また、その異なる文化に触れることで今まで近くて気づくことのできなかった身近な文化の違い、考え方の違いを今までとは違ったものの見方で新しく認識することができたような気がしました。自分の場合はドイツの社会の中にいることで日本の社会などを客観的に見ることができました。今まで興味のないような分野でも、ドイツと日本、その他の国とで違い、共通点があることから関心を持ちお互いの社会や制度の特徴などが気になって、興味関心を持って調べたりすることができました。文化を考える面では履修していた Intercultural competence という授業での内容も自然と意識したりするようになりました。

授業の面では、私は、ドイツ語の A2.1 からとりました。内容は日本でやった内容なので難しくはなかったのですが授業を全部ドイツ語で行うのでなれるまでに時間がかかりました。授業の内容がわかるので、授業の内容に沿ってドイツ語を理解することができ、ドイツ語を聞くいい機会になりました。みんな同じくらいのレベルなのでたくさん間違えますし、わからないこともあります。ドイツ語の説明で今何をする時間なのか分からない場合や、よくわからないときは隣の人や先生に聞きました。みんなも間違っていて理解していることがあるので常に再確認や理解を改めることができます。そして、授業でも積極的に発言するので、頑張って発言することをお勧めします。仮にみんなと同じように発言できなくても、1 対 1 や小さいグループで話し合いをすることもよくあるので、その時に、多く話すことを意識して、徐々にできるようになれば問題ないと思います。私は、B1.1 の授業を終わらせることが目標でしたが、最終的には A2.2 で終わりました。授業を A2.1 から B1.1 などに飛び越えたりすることは基本的にはできないので、初めのうちにできるだけ、語学力を上げておいたほうがいいかもしれません。語学を学ぶためのパートナーとして沖縄国際大学の Language peers 制度と似た Tandem 制度があり、学びたい言語と母国語、できる言語がマッチした人同士でパートナーになることができるので日本語を学びたいドイツの方や他の国の方と一緒に言語を学べたり、交流することができます。ほかの授業では、英語で提供されている、Intercultural Competence という異文化理解に似た授業とオスナブリュック大学の特徴の 1 つの認知科学学科の Introduction to Cognitive Psychology という認知科学入門の授業を取りました。難しかったですが入門なので専門的すぎず、面白い内容でした。

私が行ったドイツに到着してからの手続きについて参考までに紹介します。到着してから行う手続きは大きいものは銀行口座の開設と滞在許可証の取得です。どちらも、オスナブリュック大学側が連れて行ってくれました。必要な書類はパスポート、住居の証明書、閉鎖口座の残高証明の書類だったと思います。大学から何が必要かのメールが来ます。私は不安だったのでそれっぽい証明書は全部持っていきました。忘れてしまうと、別日に自分で予約などをしていけないといけなくなるのでなるべく忘れないようにしたほうがいいと思います。私はパスポートを忘れ、係の人が予約を取り直してくれた時間にも間に合わなかったため、翌日に自分で予約していきました。前の日は、大学で日程を合わせていったので英語で対応できるように手配されていましたが、自分で予約したときは、英語での対応はなく、全然わかりませんでしたし

た。それでもいいないらいですが、それだと困ると思うなら大学が予定している日程で言ったほうがスムーズで確実だと思います。もし、自分で予約していくことになった場合は、だいたい朝 7 時半から 8 時の時間に予約するとその日のうちの予約ができますが、それ以降だと 1 週間後とかの予約になりましたので気をつけましょう。自分でやらなければならないこととして SIM カードの交換、契約が必要になります。eSIM、Vodafone や O2 などの携帯会社にとの契約がありますが、私はルームメイトが教えてくれた Lidl Connect という格安 SIM を使いました。スーパーで SIM が売っているのでそれを購入して、手順が SIM カードと一緒についてくるのでそれ通りに進めます。テレビ電話（英語）で最終確認をして終わりです。ほかにもたくさん格安 SIM があるのでルームメイトや他の留学生などに聞いたほうがいいかもしれません。私が使っていたのは、1 月ごとにお金を追加するやり方で、追加せずに 1 月を過ぎると追加するまで使えなくなったりします。一ヶ月 20 ギガで 14 ユーロで、SIM を買うときに 10 か 20 ユーロほどかかりました。また、GEZ からのテレビ？ラジオ？の受信料を払わないといけません。個人でもできますが、寮の場合部屋を代表して誰かが払っている場合が多いです。Semester fee を含む航空券の代金以外は、多く使用しなければ、基本的に閉鎖口座から追加される毎月の代金で足りると思います。

休日の過ごし方は、バスや電車などの交通機関が基本乗り放題なので、一人でも、友人とでも周辺の地域に行ったりすることができます。電車は頻繁に遅れたり、なくなったりするので、終電や終電に近い電車に乗ることはお勧めしません。遅れたり、なくなったりしても、代替プランがくめる時間には帰りの電車に乗ることをお勧めします。バス、電車の交通機関が無料で使えるのは、ドイツ留学の大きな強みだと思います。

ドイツでは授業料を支払う必要はありませんが、オスナブリュック大学では semester fee を長期休暇期間中に支払う必要があるため、連絡などを確認して期限などを確認する必要があります。その後、学生証の更新などができるようになります。

留学に来ている同じ日本人もあまり多くないので、日本人だけにいることも少ないと思うので、仲良くしてもいいかもしれません。仲良くなった日本人と一緒に一人では参加しにくいイベントなどに参加し、交友関係を広げられるチャンスがあるかもしれません。日本と同じように、同じ授業をとっている人と仲良くなりやすいと感じたのでそこから交友関係が広がると思います。大学が企画しているイベントは面白いものもあればつまらないイベントももちろんあります。なので、予定がなければ、できるだけ参加してもいいかと思います。

分からないことや困ったことがあるときは、とりあえず聞いてみたほうがいいかもしれません。困っていても困っていることを伝えないとわかってもらえないのです。相手から聞くこともほとんどありませんので自分から伝えに行きましょう。当たり前かもしれませんが、個人的には、話しかけると、見てわかればできるだけ暇そうな、忙しなさそうな人に声をかけるとより親身になって対応してくれる気がしました。

ある程度余裕があって、メールなどで確認できることは早めに聞くことをお勧めします。余裕があると、いつもと違った問題があっても対応してくれたりします。

ドイツに着いて不安がたくさんありましたが、たいていのことは何とかできました。また、個人的には、自分に合った食べ物を見つけることが大きなポイントだと思いました。はじめは、何を食ったらいいか分からなかったですが、いろんなものを試して、気に入ったものを見つけて日常的にそれを食べるようになってからは、安心して、不安も減り、過ごすことができました。自分のルーティーンも無理に変えずに、無理のない程度に、ほどほどに。

いろんなところで耳に思うと思いますが、視野が広がることが留学の大きな特徴だと思います。オスナブリュック大学には多くの国から留学生が来ているのでいろんな話を聞くことができ、その話題に対し日本はどうなんだろうと疑問に思ったりすることで興味の幅が広がったり、他の国を知ることによって日本、またそのほかの国に関心を持ったりしました。今回経験した

ことが必ずしも良いこと、留学のメリットなのかは、わかりませんが、留学後の大まかな目標としては、この経験をうまく活かせるようにこれから頑張っていきたいと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	バンクーバーアイランド大学	
留学期間	2024 年 8 月 23 日 ～ 2025 年 6 月 1 日	
所属学部・学科	産業情報学部・産業情報学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOEFL 89
帰国時	英検 1 級 1 0 月 5 日受講予定

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学前は日常会話を問題なくこなすレベルでしたが、9 割以上英語に携わる生活を送ることで語彙力が上がり、スピーキングの自信も付きました。学部授業で利用した研究論文も内容が理解できるようになりました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
留学を考え始めた主な理由は、中学校までインターナショナルスクールに通い、英語を常時使う環境に再度自分を置きたいと思ったからです。語学が違っただけで人の価値観や考えも変わり、私はあらゆる物事について心広く学びたいというのを意識して過ごしました。ナナイモにはホームレスが多くいますが、食事や衣料を提供する団体にボランティアを数回こなし、現状についてより深く理解をすることができました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
英語は世界共通言語であり、あらゆる国の人々と繋がることができるので、これからも英語の勉強を続けながらたくさんの出会いを求めます。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	カナダが抱えている課題（先住民族の居場所、ホームレス、など）について学びましたが、VIU の授業でもよく取り上げられることがあったため、理解しやすかったです。トラブルに遭遇した時の対応についても学びました。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	17 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	近年カナダの入国ポリシーが常に変化しているため、定期的に確認する必要があります。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
発送はせずにスーツケース2つ、ダッフルバッグ、リュックサックで出発しました。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→羽田空港（Jetstar、約2時間半）、羽田空港→バンクーバー国際空港（AirCanada、約9時間）、バンクーバー→ナナイモ（Hullo フェリー、約2時間）
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
無し
その他出発前に準備しておくべきこと
有効なパスポート、Letter of Acceptance、Letter of Introduction、沖縄国際大学在学証明書、沖縄国際大学成績証明書、高校の成績証明書、海外旅行保険のコピー、TOEFL スコア、在宅先住所、証明写真数枚を全て機内持ちで持っていくこと。

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など	
8月28日の朝8時半にはESL向けのオリエンテーションがありました。教授挨拶の前に、カナダの土地は先住民族のものであることを示し敬意を払っていました。オリエンテーションの内容は、2セメスターの期間（9月3日から10月18日、10月24日から12月11日）、学生が学費、滞在先、バス、銀行口座などに困ったときに利用できる部署、イベントや課外活動に参加できる Cultural Connections、毎週違う国の発表をするイベント Culture Couch などの紹介をしていました。そのあとは複雑な大学のメール設定をし、ランチはピザを学生みんなと食べました。ほかには新入生向けに情報を提供するブースが並んでたりする Rock VIU、新留学生向けの無料ブレックファストを食べれる FROSHWEEK、サークルやアカデミックサポートの紹介、イベントの案内、フリーピザなどがある Community Corner というイベントにも参加しました。	
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など	
新入生向けのムービーナイトは午後7時から11時までだったため、参加しませんでした。	
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など	
学生証の発行、在留届の提出	

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について	
留学生同士、および現地学生との交流について	
秋学期の Term A は私を含め日本人 6 名、ウクライナ人 3 名、中国人 6、台湾人 1 名、インド人 1 名、カタール人 1 名、ニカラグア人 1 名でした。 TermB は日本人 11 名、中国人 4 名、ウクライナ人 3 名、カタール人 1 名、イスラエル人 1 名でした。 とても賑やかで発言力が高い生徒が多く、それぞれの文化によって学習スタイルが異なることがありますが、先生は「ローマではローマ人のするようにせよ」とよく言っていました。 春学期は受講する授業によってかなり異なりました。 ツーリズムではインターナショナル学生が 7 割のうちインド人が 5 割、中国人 4 割、日本人私一人でした。 メディアスタディーズではインターナショナル学生が 3 割程度でした。 先住民族のジェンダースタディーズはインターナショナル学生私一人でした。 インターナショナル学生が多いツーリズムと私一人のジェンダースタディーズでは授業の進むスピードや積極性が大いに異なっていました。	

大学の施設・設備について ※こういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）

PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について

大学の図書館は基本会話と飲食が可能でした。1階にはPCが並んでいるエリア、ホワイトボードが複数置いてあるグループスタディエリア、部屋を予約できる多目的エリア、子供もつれてこれるファミリールームとスターバックス店があります。2階には小声で話すのが可能なエリア、無音のエリア、課題などを手伝ってくれるラーニングセンターがあります。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

大学構内・周辺は基本清潔でした。VIUのアプリがあり、夜遅くキャンパス内移動するのが不安であれば警備員を呼ぶことも可能です。

滞在先のDoumont周辺も基本安全であり、夜9時以降に1人で歩いても大丈夫でした。しかし、あまりお勧めはしません。

夜のダウントウンは荒れることもあるので、絶対に1人で出歩かないようにしたほうがいいです。日中もエリアによっては気を付けたほうがいい時があります。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

Guard MeというVIU独自の保険に加入する必要がある、ナナイモの病院で提示することで無料で受診することができます。

【住居および生活について】

●留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	141,910 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	前の月の始まり・Flywire
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリット：現地のことについて気になることがあれば気軽に相談ができ、あらゆる場所に連れて行ってもらうことができます。また、英語の交流もできます。</p> <p>デメリット：夜遅くのシャワーや洗濯ができない場合があります。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>基本ホストファミリーかハウスメイトが毎晩多めに料理し、朝やお昼は残り物を食べたり自分でご飯を作りました。</p> <p>外食はホストファミリーとしたことありませんが、たまに近所のチャイニーズかベトナム料理をお持ち帰りで注文して家で食べていました。</p>		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど）		
<p>基本的な家具、日用品は用意されていました。</p> <p>海外のスキンケアやヘアケアは見慣れないブランドが多いため、普段使っているものを持っていくことをお勧めします。バンクーバーのアジアンマーケット T&T でも日本の商品多く売られているので、行く機会があればそこで購入するのもお勧めします。</p> <p>生理用品も日本製がいいです。</p>		
日常の買い物について		
BobaTime Chatime でタピオカ		
現地での移動手段について		
基本的にバスか友達の運転		
休暇中の過ごし方について		
家でハウスメイトと映画を見たりゲームを遊んだり、ハイキング、映画館、古着屋めぐり、カフェめぐり、クラブ、ナナイモのイベント参加（マーケット、遊園地など）、劇鑑賞、アイススケート、ホストファミリーと犬の散歩、キャンプ、		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ESL は無、学部授業の場合は 3 単位から正規学生扱い）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
<p>特にないが、9 月の時点でアカデミックアドバイザーに春学期の履修登録を手伝ってもらった。科目によっては資格やほかの授業を受けていないと受講できないものもあった。</p>	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
<p>語学学校</p> <p>Speaking & Listening UP5 : 7 週間のうちに vocab と grammar quiz が 4 回ずつ、listening test が 3 回、プレゼンテーションが 3 回、ディベートが 3 回、それらに加えて毎週 40 問のオンライン課題と 1 週間 2 時間以上英語のオーディオを聞き取る Listening Journal という課題がありました。グループディスカッションや発表が多い授業だったため、積極性が大事でした。</p> <p>Reading & Writing UP5 : 授業初めの 15 分はリーディングの問題、またはライティングの練習をしていました。毎週単語、ライティング、リーディングのテストがありました。期末試験内容はリーディングが 67 分、文法・文章作成が 45 分、語彙テスト 45 分、ライティングテストが 90 分で、2 日に分けて行われました。AI 使用防止のため、エッセイは全て授業時間内でテストされ、2 時間で 750 ワードの論文を作成しました。論文で使用する annotated bibliography (文献解題)を APA フォーマットで用意し、テスト当日文献を論文に引用しました。</p> <p>学部授業</p> <p>語学学校とは大幅にレベルが上がり、1 人で課題に取り組むよりかは友達と勉強することが増えました。またライティングセンターというのを利用し、論文の見直しや発表練習にも手伝ってくれます。私が受講した 3 科目の MEDI 100 Introduction to Media Studies and Communications、TOUR220 Places and Spaces, SWAG211 Introduction to Indigenous Gender は参加型で、皆の前で発言する必要がありました。しかし 15 名ほどのクラスであるため、学習しやすい環境でした。</p>	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
<p>クラブ： Dungeons and Dragons (DND) サークルに毎週金曜日通っていました。初心者でルールや仕組みがややこしいゲームでしたが、サポートしてくれる人が多くいたので過ごしやすかったです。</p> <p>課外活動：日本語クラスのボランティアを週に 2 回していました。日本の文化や言語に興味がある学部学生が受けているので、アニメ・漫画・ゲーム・コスプレが好きなカナダ人と仲良くなれます。</p> <p>ESL Learning Centre でも英会話をほかの学生とするボランティアもしました。英語を話したい学生やただゲームと一緒に遊びたい学生と、ESL 授業が終了語の 13 時から 14 時半まで週 2 で活動していました。最後はみんなでアイスホッケーも見に行きました。</p>	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
ESLU 051 University Preparation 5: Reading & Writing 秋学期ターム A 語学学校			
ESLU 052 University Preparation 5: Speaking & Listening 秋学期ターム B 語学学校			
SWAG211: Introduction to Indigenous Gender 春学期 学部授業	3		
TOUR 220: Tourism Places and Spaces 春学期 学部授業	3		
MEDI 100: Introduction to Media Studies 春学期 学部授業	3		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

●留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
8月 23日	現地到着
8月 29日	留学生向けオリエンテーション
8月 30日	インターナショナル学生向け朝食・学生サービスフェア
9月 3日	秋学期ターム A 開始
9月 12日	学内イベント VIU FROSH
9月 27日	学内シアター Malaspina Theatre で劇 Rocky Horror
10月 18日	秋学期ターム A 期末試験 クラス最終日
10月 24日	秋学期ターム B 開始
11月 27日	学内イベント World VIU Days Arts Around the World
11月 28日	レイディースミス Festival of Lights
12月 12日	秋学期ターム B 期末試験 クラス最終日
1月 7日	春学期 開始
2月 18日	～21日まで休暇
4月 11日	春学期クラス最終日
4月 14日	～4月日 30 期末期間
6月 1日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		503,560		円	
B. 海外旅行保険（1年）		144,020		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		2,262,764		円	
D. 教材費（1年）		20,000 円 ※学部授業は教科書無し		円	
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	142,524	円（月額）	1,282,716	円（年額）
	食費	2～30,000	円（月額）	180,000	円（万）
	交通費	6,000	円（月額）	54,000	円（年額）
	携帯代金	5,000	円（月額）	45,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	1～15,000	円（月額）	135,000	円（年額）
	その他	5,000	円（月額）	45,000	円（年額）
	生活費合計	203,524	円（月額）	1,831,716	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		4,762,060		円	

●留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>クレジットカード1枚とデビットカード1枚持っていき、基本はクレジットカードから支払いをしていました。滞在費が高額で私のクレジットカードだと限度を超えて利用できなくなるため、両親にお願いしていました。現金は基本的に利用することなかったが、ATMから引き落とすことも可能です。</p>	
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p>	
<p>無駄遣いをする性格でしたが、全部が高額であらゆる買い物の我慢であったり、食事にあまり費用をかけないほうが良いと思います。</p>	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	バンクーバーアイランド大学	
留学期間	2024 年 8 月 23 日 ～ 2025 年 6 月 1 日	
所属学部・学科	産業情報学部・産業情報学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

カナダのバンクーバーアイランド大学に去年の 8 月から今年の 6 月までの約 10 か月間留学しました。留学を通して印象的である情報や体験を紹介します。

出発前の準備

留学が決まって出発までの期間中はなるべく多くの英語を日常生活に取り入れるように意識していました。ニュースサイトはアメリカの New York Times、イギリスの British Broadcasting Corporation などから幅広いジャンルの記事を読み、見覚えのない単語を書く勉強をしました。英語があまり使えなくとも留学先でのほうが自然と身につきますが、私は英語を最大限に学習してネイティブスピーカーと同等の立場で関わりたいという 1 つの目標もあったため、沖縄でも積極的に英語が使える環境（グローバル教育支援センターのイベント、基地内のボランティア、英会話交流会など）に身を置きました。しかし、沖縄国際大学の授業と同時に留学の準備をし、両方とも締め切りが多く、忙しい日々でした。

留学に関する情報はグローバル教育支援センターにおいてある資料や先輩方に相談、YouTube でパッキング動画をよく視聴していました。特にカナダの長所だけでなく、しっかり短所についても調べる必要があります。カナダの歴史、政治状況、先住民族、抱えている課題について軽く知るだけで、現地の学生や先生、ホストファミリーとより深い話をすることができ、あらゆる価値観を取り入れることができます。

留学先で沖縄について知っている方が少ないため、沖縄国際大学代表として留学した私はみんなに沖縄と本土の違いや沖縄の文化や歴史、抱えている社会問題などと幅広い知識で沖縄を紹介しました。沖縄に対して好印象を与えることができるのでお勧めします。

授業の様子

語学学校と学部授業の共通は 1 つのクラスに学生数が少なく、授業に参加しやすいという点です。どの授業もディスカッションや教授との質疑応答が多いもので、自分の意見にエビデンスを加えて発言する能力が試されます。せっかく海外留学をしているので過ちに恐れず授業に貢献することが大事だと思います。

語学学校は月曜日から金曜日朝 8 時半から 12 時 45 分までであり、毎日課題と語彙・文法・リーディング＆ライティング（またはスピーキング＆リスニング）のテストがありました。私にとってはそこまで難しい内容ではありませんでしたが、量が多く手間がかかってしまうものばかりで日頃の課題は 1 時間～2 時間取り組んでいました。しかし発表や論文などの期限が長く設けられる重要な課題は計 5 時間以上はかけました。特に APA フォーマットの仕組みの理解、発表する際は小さいメモ帳一枚のみでボディラングエッジ重視で行うことに苦戦しました。より完璧に近づけるためにはホストファミリーやネイティブスピーカーの友達に発表練習に付き合わせたり学内図書館で提供しているサービスのライティングセンターで教授にレポートを見てもらったりもしていました。ESL は自分と同じ他国から英語を学びに来ている学生であふれているので、お互い英語を完璧としない者同士で学生と関わりやすいです。

学部授業は自分でスケジュールを組むので、自分の時間を作りやすいです。しかし語学学校とは比にならないほどハ

ードルが上がるため、自分の時間でも授業に追いつけるようと勉強をしていました。当たり前ですが、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング全て必要になり、どれかを完全に諦めっていると学部授業に追いつくのは大変だと思います。私が受講したクラスでは資料 15 ページ以上のものを授業前に読み、それについて詳しく解説をしてディスカッションなどを行っていました。発表や論文もちろんあり、最大 9 ページのレポートと 30 分のグループ発表をしました。どれも提出直前で大変でしたが、興味あるトピックについて取り上げたので楽しく面白いと思える課題ばかりでした。

課題や授業内容でつまづくことがあると思いますが、優しい先生が多いので質問であったり課題提出にもっと時間が欲すれば延長してくれるので、助けが必要になったら相談することをお勧めします。

ホストファミリー・友達関係

私のホストファミリーはたったの 9 か月間で第二の家族と呼べるほど仲が良くなりました。2 階建ての家には 70 代の夫婦スティーンとケイトと 2025 年 6 月に VIU 卒業したばかりのインド人のハウスメイトのサヒーティがいて、ベースメントには夫婦の 50 代の娘ターニア、その子供 2 人 20 歳の娘アニカと 16 歳の息子ソーレンと大型犬タッカーがいます。ホストファミリーと会える前は春学期からルームメイトを探して一人生活を考えていましたが、居心地がとても良かったため最後まで一緒に生活していました。彼らは 17 年以上ホストファミリーを続けており、世話好きで学生を大切にする方々でした。車を出してあげたがったり、私の分までのコーヒーを作りたがったり、落ち込んだり悩んでいるときはすぐに気づいたりしてくれました。お喋りが大好きな典型的なカナダ人でしたが、私もお喋りが大好きなので家帰って荷物を下ろす前に 10 分以上は玄関やキッチンで小話をよくしていました。スティーン、ターニアかアニカとよくタッカーの散歩に付き合ったり、ケイトとは視聴している韓国ドラマの話やガールズトークをしたり、サヒーティはほぼ毎日夜勤で忙しかったが家にいるときは何気ない会話を楽しんだり、アニカとは週に 4 回ほど一緒に夜テレビを見たりゲーム遊んだりしていました。ホストファミリーと生活を始めた 1 か月目から「自分の娘にしたい」と私の存在を大いに歓迎したり、戻ってきたら部屋開けとくよと言われるほど距離が縮まりました。これはホストファミリーのみんなとルールをリスペクトし、積極的に関わったことで得られた仲だと思いますが、何よりも相手が英語を崩さずにありのままの自分で会話をすることができたからだと思います。

ナナイモで作った友達も同様、話す相手が私に気を遣って簡単な英語で話すよりかは普段のままで会話するとより深い仲の友達がたくさんできると思います。もちろん分からないことは聞き逃さずにその場で聞いたら優しく教えてくれます。私は授業以外に多くのイベントやボランティアに初めは 1 人参加していたので、そこから幅広く友達を作ることができました。特に興味あるものに関する場所へ行けば自然と周りの人と仲良くなることができるし、誰とも話せなくともそれは 1 人で過ごした良い経験と捉えれば大丈夫です。私は 9 月にあった Mid Autumn Festival のボランティアで中国アニメが好きな友達を作ったり、日々通っていた日本語クラスのボランティアではゲームやコスプレが好きな人と出会えたり、VIU が提供するデイトリップのバスでは留学生同士ということで話が盛り上がった 3 人組とも仲良くなりました。私は 1 人で過ごすのも好きですが、留学という短い期間に FOMO(Fear of missing out)が発動してしまい、誘われごとには必ず参加していたので、友達と過ごす時間が多かったです。帰国後でも関係が続けられる友達ができると正直思っていないのですが、数多くあらゆる国に友達ができて、いい人間関係を築けることができました。

留学を通して変わったこと

1 つ大きく変わったことは価値観です。カナダには多種多様な文化や人が存在し、オープンに発言する方も日本と比べるとかなりいます。物事の受け入れ方、多文化の尊重の仕方などと、視野が広がりました。また、自分から積極的に行動しないと、あらゆる経験を見逃すことを実感しました。留学は決まった短期間で過ごすため、生活を充実させるために多くのイベントや興味あるものに挑戦をしていましたが、沖縄では全くしていないことに気づきました。長年住んでいると自分から調べて行動に移すことがなくなってしまうことに気づかされて、これからは沖縄でも充実するように趣味やイベントにも挑戦しようと思えるようになりました。

初めは「好きな先生がカナダ人だったからカナダ行ってみたい」という些細な理由でカナダに興味を持ちましたが、実際国について調べたり留学することでカナダという国に興味が湧き、忘れられない体験をすることができました。機会があれば絶対に海外留学に挑戦するべきです。